

決めつけないということ

小三

家族でテレビを見ていたときのことです。スカートをはいて、女の人のように話す男の人が出ていました。その人を見た母が、

「いぜんは、こういう人がいると、みんながからかっていたけれど、このごろは、人気者になっている人が多いね。」

と言っていました。その言葉を聞いて、わたしは考えました。もし自分が、すきな洋服を着ていてからかわれたり、わらわれたりしたら、とても悲しい気持ちになるだろうと思いました。そ母

もこう教えてくれました。

「おばあちゃんや子どもは、絵の具のふくろの色を、男の子は水色、女の子はピンクと、決められたものを使っていたんだよ。」

わたしはおどろきました。今では、自分で決められることも、いぜんは、できなかつたということでした。

やっぱりわたしは、自分ですきな洋服を着たいし、すきな色のものがほしいです。色によって、男の子、女の子と区べつするのはおかしいし、みんなとちがう服そうをする人をわらうのもおかしいと思います。

どの人も一人一人みんなちがっていいです。「みんなちがって、みんないい。」という詩がありますが、わたし

もこれから、相手のことを決めつけたり、きずつけたりするような言葉を使いたくありません。

だれもが気持ちよく生活することができるよう、毎日をごしていきたいです。